

西三河版



魚とオウム貝
工藤保之
みつば会

ニュース、情報は下記へ
社 会 部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

岡崎支局 千444-0863
岡崎市東明大寺町16-18
0564-22-1661 Fax25-1554
豊田支局 千471-0849
豊田市美山町3-34-34
0565-24-1010 Fax25-1118

安城通信局 0566-76-3355 Fax76-0900

西尾通信局 0563-56-3135 Fax56-3136

XI谷通信局 0566-21-0077 Fax26-0285

碧南通信局 0566-41-0468 Fax43-1047

豊橋給食 0532-52-7181 Fax54-4655

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

広告のお申し込みは
広告局三河アドセンターへ
岡 崎 0564-23-3051(代)

掲載写真を購入希望の方は
豊野りの中日新聞販売店へ

秋田病院

- 整形外科 ●リウマチ科
- 内科 ●皮膚科
- リハビリテーション科

(その他7科)

創作ダンス 輝く全日本4位

岡崎女子大・女子短大 ダンス部

岡崎女子大・女子短期大(岡崎市巾着町一)のダンス部が、八月にあった「第二十二回全日本高校・大学ダンスフェスティバル」の大学創作コンクール部門で神戸市長賞(四位相当)に輝いた。体育大学などで創作ダンスを専門に学ぶ出場校が多い中、ひときわ異彩を放った。(鎌谷真里)



赤ずきんモチーフに女性の強さ表現



テーマは「ダークサイド・赤い頭巾の女の寓話」。シャルル・ペロー版「赤ずきん」の寓話を自分たちなりに解釈し、アレンジした作品だ。「授業で扱った際、赤ずきんの「オオカミに襲われる、弱い女性」というイメージ像に、果たして本当にそうだったのかと疑問が湧いたところから着想を得た」と四年生の団野穂部長(二)は話す。

メンバーで話し合い、「危険があるのを知りながら意志を持ち、森に入った強い女性」「赤は目立つ上に魅力が際立つ色だと知りながら、あえて赤ずきんをかぶり、オオカミを操った女性」だったのでは。したたかな面も含め、主

一つの作品を作るのかかる期間はおよそ一年。テーマや構成の企画から始まり、衣装や小道具作りまで全て、二十三人のメンバーで担った。「衣装は布選びから裁縫までやるし、舞台背景の道具の木工作業やペイントも分担する。これらを外注する大学も多い中、こんな出場校はなかなかないと思いますよ」と山田准教授は朗らかに笑う。

学生らは保育士や幼稚園、小学校教諭になるための勉強や実習も忙しい。「授業後以外に授業前の朝練習二時間、昼休みの三十分など、みんなで時間を捻出し練習してきた」と四年生の伴野結湖(副部長)は話す。「山田先生の厳しくも温かいご指導のおかげ」と感謝の気持ちも表した。

●赤ずきんをかぶるシーンを表現するダンス部のメンバー。岡崎市中巾着町の岡崎女子大で。●第22回全日本高校・大学ダンスフェスティバルで神戸市長賞に輝いた23人のメンバー。山田准教授提供